



自ら意義あらしめ 記念祭を一手一つに

3月大教会教会長会議

立教185年3月22日

大教会長 片山 幹太

この2年間、新型コロナウイルスの事情により、日本だけでなく世界中の人々が、不安を感じたり、当たり前だった日常生活が当たり前でなくなったりしました。

しかしながらその事情を通して、人々はマスク着用や手指消毒、ワクチン接種、三密(密閉・密集・密接)を回避する行動など、皆が一日も早くコロナ禍が収束するよう協力している。そういう状況ではないでしょうか。

「一手一つ」と言えるのかどうかは分かりませんが、皆が心一つとなって収束を願う行動している。これは親神様が望まれる陽気ぐらし世界の実現に向かって一歩前進している心の在り方ではないかと感じています。

その一方で、世界では軍事侵攻があります。

人々の心が八つのほこりにまみれている姿を見せられています。教祖

本島通信

発行所 〒763-0223 香川県丸亀市本島町泊 268
天理教本島大教会
電話 0877-27-3321 (代)
本島通信編集室 R220324-0328-15
奈良県天理市指柳町 270-1
本島詰所 〒632-0093
電話 0743-63-1571 (呼)

https://www.honjima.com
Email: webmaster@honjima.com
大教会 朝夕おとめ時間
【4月1日～4月15日】
朝づとめ 午前6時30分
夕づとめ 午後6時45分
【4月16日～4月30日】
朝づとめ 午前6時30分
夕づとめ 午後7時00分

の教えを信仰している私たちは、まずは自らの心のほこりを払うことから努めさせて頂きましょう。

見えているものに振り回されるのではなく、見えないもの、特に自分の心をしっかり見つめ、自由を与えられている我が心で、自らが教祖の教えを守り、互い立て合いたすけ合う陽気ぐらしに向かって苦心させて頂きましょう。

本島大教会 神殿講話(要旨)

【立教185年3月22日】

「感謝・慎み・たすけあい」 心を一つに記念祭を勤めよう

大教会役員 平井 真治郎

只今は3月月次祭を皆様方と共に、大教会長様を芯に陽気に勤めさせて頂きました。誠に有難い次第です。

本島は春の穏やかさに気持ちがホッとしています。

私がお預かりする北海道の教会は未だ雪いまの中いまであります。今年も

いよいよ記念祭まで2ヶ月を切りました。

このたびの記念祭は、真柱様のお入り込みがございません。私たち自みづから意義をあらしめ、これまで以上にやの思召に近づく記念祭となるよう努力していきたいと思ひます。

どうぞよろしく願ひいたします。

(文責・本島通信編集室)

たくさん積雪があり、除雪に追われる日々でしたが、2月は青年会本島分会から有志の皆様が除雪ひのきしんに集まってくれました。

これまで除雪は一人で黙々としていましたが、さすがに青年会は勢いが違います。背丈ぐらいに積もった雪を、がんがん掻き出す姿は勇まし

く感動いたしました。とても有難かったです。

私はその青年会を見て、「一手一つ」の姿を感じたのであります。

本島大教会創立120周年を目指して、大教会長様は成人目標におさしづ、

「一手一つに皆結んでくれるなら、どんな守護もする明治31・1・19」を掲げられました。

このおさしづは、真柱様が立教181年春季大祭の神殿講話の最後に引用されておられます。では、このときのお言葉はどのような内容だったのでしょうか。改めて振り返らせて頂きたいと思います。

真柱様のお言葉を要約させて頂くと、まず半年前の7月に、「かんろだいが倒される事情があった」こと。「二段目と二段目を残して倒された



姿を見て、かんろだいの石普請が頓挫に次いで取り払われた史実が思い浮かんだ」こと。「一手一つになれとお仕込みだと感じた」こと。そして、

「一手一つとは、同じ一つの目標に向かって、それぞれがその持ち場の役割を果たすとともに、相互に連携して活動することです。私たちが目指すところは、親神様、教祖の思召である、世界一つをたすけて陽気ぐらしの世の中を実現することです。そのためには、この教えを世界中に行き渡らせ、また末代に伝えなければなりません。それには、をやるの思いが分かり、その思召を実現すべく立ち働く、もっと多くのようばくを育て、増やすことが必要であります。」(中略)

「道の現状は決して樂觀できるものではありませんが、何もないとこから道をお付けくださった教祖の道すからは申すまでもなく、世間の人々に笑われ誇られ、さらには官憲の長く厳しい取り締まりのなかも、ひながたを目標に通じ切られた先人たちのおかげで、今日の姿があることに思いを致し、まだまだ確かな本道には程遠い細

道の道中であることを肝に銘じ、心を引き締めて通らなければならぬと思います。」

とお話された後に

「一手一つに皆結んでくれるなら、どんな守護もする(明治31・1・19)」であります。

この神殿講話の後、私たちは真柱様のご身上のふしを見せられ、さらに世界中に広がる新型コロナウイルス、今年はロシアのウクライナ軍事侵攻などの事情を見せられています。親神様が人間の心の入れ替えをお促し下さる強いメッセージと感じずにはいられません。

2ヶ月後に迫る大教会創立120周年記念祭は、教祖ひながたの道を目指しに通られた先人達のお陰で今日の私たちの姿がある。お互い心を引き締め、一歩一歩と地に足のついた歩みを進めさせて頂きたいと思えます。

そのためにも、陽気ぐらしのキーワード「感謝・慎み・たすけあい」について思案するところをお話させて頂きたいと思えます。

まず「感謝」とは、有難いと感じて礼を述べること。有難いと感じる気持ちです。

本島の道は明治29年、敦賀よりやって来られた布教師の佐藤栄佐生が、この本島で命がけの布教をされて、ついに明治35年、片山好造が無い命を救けられ道一条となられ、周囲の大反対の中、教会設置運動に尽力されたことに由来します。

そこには言葉では言い尽くせない難渋な道があり、おたすけがあり、それは片山好造先生の佐藤栄佐先生に喜んで頂きたい一心である「親孝心」だったと伝えられています。

我が家の信仰初代である平井熊之進も身上事情で苦しんでいる中、好造先生のご丹精を頂き、お道の信仰者となり、世代を重ねて現在に至っています。もし初代の入信がなければ、間違いなく私はこの場に立っていないかもしれません。皆様も同じではないでしょうか。

このことはとても大切なことだと思います。それは「感謝」であります

次に「慎み」です。慎みとは、知ること、気づくことだと思います。

私は高校卒業後、大学受験に失敗して落ち込んでいたとき、父から大教会での伏せ込みを言われ、しぶしぶこの本島に来ました。慣れない生

活に、つらい日々を送っていました。あるとき、お墓地に供える柵さかきを採りに、大教会の裏山に入りました。先輩から教えられながら採るのですが、全然ダメで怒られ、落ち込んだ気持ちのままトラックの荷台に乗りお墓地へ向かう途中、大教会の参道で私の不注意により頭から転落してしまいました。

気づいたときは大教会事務所で役員先生がおさづけの取り次ぎをして下さっていました。大きな出血がありましたので丸亀の病院で手当をしてもらい、ますます気持ちが落ち込んで行きました。

その日の晩のことです。当時は大教会在籍の方々に、部内の教会長さんが毎月代わる代わるお話をしておられました。その月は私の父が当番に当たっていました。

私は頭と両手を包帯でぐるぐる巻きにして、部屋の一歩後で聞いておりました。

父の話は平井家の信仰の元一日のお話でした。私は初めて聞く話に、涙が止まらず泣きながら聞いていました。これが、私が初めて親神様のお手引きに気づいたときでした。

私は、北海道の教会での生活も、

天理教だからこんな思いをしているのだと不足ばかりの日々でした。兄弟姉妹で男は私一人、教会を継ぐというのを幼少の時から言われ続け、自分の将来に不信感しかありませんでした。

でもその日、い、い、い、の切り換えのためこの信仰を代々繋いできた親々の心を知ったことから、気持ちが少しずつ変わってきました。

親神様のお手引きに気づくことから、慎みの心が身について行くのではないのでしょうか。

教会をお預かりしているお互い教会長は、この「慎み」がとても大切だと思います。

最後に「たすけあい」です。

昨年、大教会長様より御命を頂き、9月から11月まで修養科一期講師を勤めさせて頂きました。私は101組女子クラスの副担任でした。担任も女性の先生で、男は私一人だけで緊張の日々でした。

クラスは19名で、年代も10代から高齢者までバランスの取れた組でした。

その中の一番若い修養科生がクラスをかき回すことになります。

2週間経ったところから、組係や数人のクラスメイトから、その子の行いが辛い、気に障さわるとの声が聞こえてきました。その子の詰所主任からも相談がありましたので、修養科世話掛担当の先生に相談したところ、専門医に診てもらおうということになりました。

その結果、アスペルガー症候群であると診断されました。

アスペルガー症候群の方の特徴は、社会的コミュニケーションの障害、興味や活動の偏りへたがあるそうです。本人に悪気はないのですが、対人関係に障害をもたすことが多く、団体生活にはとても馴染なじめないことが分かりました。

このことを組係に伝え、しばらく様子を見ることにしましたが、状況がすぐに変わることはありませんでした。

そんな時、日曜日の特別ひのきしんで、クラスのあるご婦人さんとその子がペアで境内トイレ掃除を勤めたとき、その婦人さんがその子に「おさづけの理を拝戴したら私に取り次いでほしい」と言ってくれた一言から、事態が変わってきました。クラスのみんなも彼女のことを少しずつ

理解しはじめました。

彼女は外見上わがまま放題でしたが、組係や仲間の声に少しずつ耳を傾けるようになり、一緒に廻廊拭きなどひのきしんをするようになりました。

ところが2ヶ月目の中頃、そのご婦人さんがご自身の都合から修養科を辞退することになりました。彼女も目標を失いかけます。

そこで担任を中心に、組係やクラスの皆さんが、何度も神殿、教祖殿に足を運び、お願いづとめを勤めて下さいました。まさに「たすけあい」の姿でした。

3ヶ月目になり、その子はおさづけの理を拝戴することができ、ようやくになりました。そこで「おさづけの理を拝戴したら私に取り次いでほしい」と言ってくれたご婦人さんとの約束を果たしたい、ということになり、ご婦人さんと同じ詰所の修養科生にも協力してもらい、数日後、本部神殿にて、彼女は其の辞退されたご婦人さんと対面し「あしきはらい……」とおさづけを取り次ぐことが出来ました。クラスのみんなが二人を囲んで添い願いをしたそのとき、何ともいいような感動がそ

の場を包んでいました。そして皆が泣いていました。

彼女もご婦人さんもクラスの皆も「ありがとう」と何度も伝え合いました。

見知らぬ人々が、それぞれ神様のお手引きでおちばに引き寄せられ、修養科第963期を志願され、101組となり、「たすけあい」の感動を味わう。「いんねん寄せて守護する」との教えをこれだけ深く感じたことはありませんでした。

大教会創立120周年記念祭まであと2ヶ月、まだバタついてるところもありますが、ラストスパートです。「感謝・慎み・たすけあい」の心で、大教会長様を芯に、老いも若きも一人ひとりががっちりスクラムを組んで、一手一つにその日を喜びいっぱい迎えさせて頂きましょう。

ご清聴ありがとうございます
ました。

(文責・本島通信編集室)

三月月次祭 祭典役割

祭主 指図方	大教会長 老木邦光	座りづとめ	寺本教生 平井真治郎	賛者	永島宗行 雲庵春彦
	大教会長 岩橋慶三 井上哲 平井真治郎	てをどり前半	てをどり後半	山下英久・今野孝・村田輝夫・ 上山康雄・川村吉夫・木村大喜・ 滑川善久・溝口晋太郎 雅楽奉仕者 池田恒治・片山 秀明・香川高範・上山薫・伊 東賢太郎・鎌田康典・伊東慎平・ 佐々木徳太郎・白垣俊生・奥 村由多加・片山好次(順不同)	
	てをどり	てをどり	てをどり		
	てをどり	てをどり	てをどり		
地 方	岩橋慶三 井上哲 平井真治郎	岩橋竜造 高島栄造 長尾海和	雲庵春彦 宮路和徳 今野孝	てをどり後半	
	てをどり	てをどり	てをどり		
	てをどり	てをどり	てをどり		
	てをどり	てをどり	てをどり		
てをどり	大教会長 片山勲 高島清弘 会長夫人 片山やすゑ 長尾澄子	西山道教 原口実 後藤正治 池田さわみ 岩橋元実 岡崎むつゑ	片山直明 岩橋守行 肥後章 伊東晴美 宮武有為子 川村かず子	てをどり後半	
	てをどり	てをどり	てをどり		
	てをどり	てをどり	てをどり		
	てをどり	てをどり	てをどり		
ちやんぽん 拍子木 太鼓 すりがね 小琴 三味線 胡弓	岡崎八十則 雲庵道延 窪田靖明 篠原丕王 向所隆文 永山晴明 片山榮 井上みつの 向所暉美子	吉田知彦 長濱充憲 茶屋原良昭 高垣光治 伊東康成 大上道徳 雲庵まち子 片山美穂 梅木澄代	木村太喜 滑川善久 村田輝夫 山下英久 位下道治 鎌田典夫 菅岡和美 谷口十糸子 今野芳子	てをどり後半	
	てをどり	てをどり	てをどり		
	てをどり	てをどり	てをどり		
	てをどり	てをどり	てをどり		
神殿講話	平井真治郎	てをどり	てをどり	てをどり後半	
	てをどり	てをどり	てをどり		
	てをどり	てをどり	てをどり		
	てをどり	てをどり	てをどり		

三月月次祭祭文

立教百八十五年三月二十二日

これの神床にお鎮まり下さいます親神天理王命の御前に天理教本島大教会長片山幹太慎んで申し上げます。

親神様には紋型ないところから、この世人間をお創造り下され、妙なる自由の御守護をもって、日々陽気ぐらしの道へお導き下さいます親心の程は、誠に有難く勿体ない限りでございます。

私共は、及ばずながらも、常に元一日の理を心に治めて、思召にお応えさせて頂けるよう、日夜勇んで勤めさせて頂いておりますが、その中にも今日の吉日は、当大教会の月毎の御祭日に当たりますので、只今から、おつとめ奉仕者一同、一手一つに心を揃え、座りづとめ、てをどりを陽気に勇んで勤めて、三月の月次祭を執り行わせて頂きます。

御前には、今日の日を楽しみに帰り集いました道の子供達が、日頃の御高恩に御礼申し上げ、尚も変らぬ御守護におすがりする真実の状をお受け取り下さいます、親神様にもお勇み下さいますようお願い申し上げます。

尚、今月二十八日にはご本部中庭に於て「立教百八十五年春の学生おどろがえり」が「次代を担うよふぼくへ」の目標のもとに開催され、また、二十六日から二十八日まで、本島詰所に於て「鼓笛隊春季特別合同練習会」が、五月二十一日の記念祭に向けて「一手一つ」の演奏が出来るよう、信仰心と技術の向上を目指して実施させて頂きます。

かねてよりお急ぎ込み下さっております「道の後継者育成」の上には、私共よふぼく一人ひとりが常日頃から心を込めた丹精はもとより、御教を守る態度を写していく決意でございます。

更に、国内外の感染症に加えて、世上の混沌と紛争をお見せ頂く中、ひたすら教祖の御心を求めて、互いに立て合いたすけ合う喜びを広めていきたいと存じます。

何卒、この上とも変わらぬ親心で、届かぬ点は幾重にもお仕込み下さいます、世界たすけの上にお使い頂けますようお導きの程、一同と共に慎んでお願い申し上げます。

(原文のまま)

赤峰分教会初代会長向所忠夫40年祭

赤峰分教会(向所隆文会長、宮崎県都城市)では、3月13日に大教会長を迎え(随行・岩橋慶三役員)、初代会長向所忠夫40年祭を執り行いました。参拝者135名。

年祭は午後1時30分より大教会長祭主のもと、神殿の儀、祖霊殿の儀、初代会長の講話視聴、墓前祭の順に執り行われました。

あいさつに立った大教会長は、稿本天理教教祖伝逸話篇より深谷源次郎先生の逸話「二四一ふしから芽が切る」と



赤峰分教会奥津城

「二四二狭いのが楽しみ」を引用し、初代の信仰を振り返りました。

またこのたび、赤峰分教会では48年前の初代会長の肉声の講話テープ教本を発見。約30分にまとめた講話の音声に写真と字幕をつけた動画を上映し、初代会長への理解を深めました。

さらに年祭の3ヶ月前より境内地内にある赤峰奥津城(納骨堂)の外壁塗装、地盤改良、樹木の剪定や間伐など整備を行い、年祭当日は好天に恵まれ、心地良い木漏れ日のもと墓前祭が執り行われました。

中古マイクロバス購入

記念祭を2ヶ月後に控えた大教会では、このたび新たに中古マイクロバスを購入し、3月より本島島内にて帰参者送迎に当たりました。

バスはトヨタ・コースターEX。昨年の東京オリンピックの選手送迎に使われていた中古車で、走行距離は約1万4千キロ、AT車で、車内には冷蔵庫が設置してある28人乗り。

これまで使用してきたマイクロバスは完全に動かなくなったことから、廃車となりました。



春季霊祭役割



入社祭(立教185年3月22日)

▼本島△川口きく枝△横関明美
▼本水島△山口嘉名子【計3名】

3月22日(火)

【香川県丸亀市】

天候 雨後晴
最低気温 5.6℃
最高気温 10.9℃
平均気圧 1018.9 hPa
平均湿度 86%
平均風速 1.8 m/s
日照時間 1.8 時間
降水量 18.0 mm

雅楽奉仕者 池田恒治・片山秀明・伊東賢太郎・鎌田康典・伊東慎平・鎌田仁史(順不同)

祭主	大教会長	指図方	老木邦光	扨者	寺本教生	賛者	岡崎八十則	永島宗行	雲庵春彦	獻饌長	牧野道昭	伝供	井上哲・岩橋竜造・篠原丕王・永山晴明・吉田晴雄・向所隆文・大上道徳・原口実・後藤正治・伊東康成・高垣光治・片山直明・肥後章・馬渡講一・上山康雄・川村吉夫・今野孝・須崎晴道				
笛	ちやんぼん	拍子木	太鼓	すりかね	小鼓	三味線	胡弓	てをどり		地方							
後藤正治	岡崎八十則	寺本教生	西山道教	岩橋慶三	岩橋竜造	片山やすゑ	今野芳子	長尾澄子	池田さわみ	会長夫人	井上哲	牧野道昭	大教会長	向所隆文	吉田晴雄	片山勲	大上道徳
須崎晴道	須崎晴道	永山晴明	片山直明	川村吉夫	肥後章	川村かず子	伊東晴美	菅岡和美	高垣洋子	宮武有為子	今野孝	馬渡講一	高垣光治	伊東康成	原口実		

事情はじび

立教185年3月26日、本島関係のお運びはありませんでした。

修養科第967期修了者

(立教185年3月27日修了)

エヌ・シー 岡田 亘晃

【計1名】

教人資格講習会修了

(立教185年2月16日修了)

本米里 鈴木勝義

本備前 伊東慎平

【計2名】

教人登録

(立教185年3月2日付)

本米里 鈴木勝義

【計1名】

学生生徒修養会大学の部

(3月2日～6日、3月8日～12日)

▼本島△片山好次 ▼本恵△

今井初音 ▼本千代△今宮穂

香 ▼雄福峰△北山妙子△北

山成美 ▼栄峰△大矢龍治

▼霊峰△宮路広大 ▼實峰△

山内智子 ▼大隅聖峰△伊藤

弓笑 ▼仙峰△向所純平

【計10名】

スタッフ

▼本千代△吉田貴慶【計1名】

をびや許し

(立教185年2月分)

▼吉峰△高田亜希 ▼大隅聖

峰△宮路かおり ▼肥後八峰

△細見博子 ▼銀峰△後藤絵

里奈 【計4名】

大教会長動向

▼4月(予定)▲

3日、本府中分教会巡教

6日、同朋分教会巡教

10日、本中国分教会巡教

14日、大教会月次祭執行

18日、教祖誕生祭参拝

19日、天理教婦人会総会

24日、修養科門出まなび

25日、かなめ会委員会

26日、本部月次祭参拝

27日、かなめ会

29日、全教一斉ひのきしんデー

30日、本部神殿奉仕当番

第2回おつとめ稽古

記念祭おつとめ奉仕者による第2回おつとめ稽古が3月21日夕づとめ後、大教会神殿

において行われ、先月に引き続き約40名が参加しました。

寺本教生役員、窪田

靖明准役員、永島宗行

准役員おつとめ修練部

より、前半と後半のお

てふりお手直しと、鳴

物の確認を行いました。

訃報

本島大教会役員
本篠分教会前会長

寺本管一郎氏



寺本管一郎氏(大教会役員、本篠分教会2代会長)は去る令和4年3月15日午前7時51分お出直しになりました。享年91歳。葬儀はみたまうつしを3月16日に家族のみで行い、告別式は同月24日午後1時より本島詰所において、大教会長斎主のもと執り行われました。

寺本管一郎氏略歴 昭和6年2月24日生まれ。昭和30年5月19日、おさづけの理拝戴。同年12月27日、教会長資格検定合格。昭和31年2月8日、教師補命。昭和32年2月23日、鎌田淑美と結婚。昭和34年から37年、大教会神殿ふしん実施部付、昭和57年10月21日、大教会役員登用。平成元年4月26日、本篠分教会2代会長拝命。平成9年9月1日、宗教法人天理教本島大教会責任役員(2期10年)、平成9年10月、本島詰所主任(1期3年)、令和2年3月26日、本篠分教会長辞職。教会長在職期間30年間。大教会神殿講話は5回勤められた。本部詰員。

おさづけお取り次ぎ報告

(立教185年3月22日)

提出教会 16教会

報告数 1,359回

累計 4,664回

ろくち云 (立教185年3月分)

▼本島△片山幹太・片山かおり・香葉子・幹太郎・好次・昇太△片山秀明△長尾真美・幸太△藤山さちよ ▼樺太分教会 ▼本樺△大上ほの香・はる香・太吉 ▼本浜△片山清枝・正枝・誠 ▼崇徳分教会△高垣あゆみ ▼本高分教会 ▼ポートランド△片山和信・陽子・昇慶・竜次 お礼申し上げます

今回は4月13日夕づとめ後に行う予定です。



本島大教会創立 120 周年記念祭 行事要項

記念祭タイムテーブル

●立教 185 年 5 月 21 日

- 6:15 朝づとめ
- 7:00 受付開始
- 8:00 開扉・献饌
- 10:40 神殿集合
- 11:00 記念祭執行
- 13:30 頃 記念撮影、お弁当配布
カンタリーパーク(昼食)
- 15:00 記念祭終了

●帰参について

- ◇今回は、帰参の人数を制限せず、毎月の帰参と同様に各教会の判断でご帰参ください。コロナ禍の中、不安を抱かれている方は、どうぞ参拝をご遠慮ください。

- ◇ライブ中継を行います。

●開扉・献饌

- ◇朝づとめ後、祭典準備に取りかかり、引き続き開扉・献饌を行います。

●朝食について

- ◇日帰り帰参者の朝食はありません。
- ◇キッチンカーは午前 8 時頃より開店いたしますのでご利用ください。

●駐車場について

- ◇児島観光港：アーバンホール児島、JR 高架下駐車場
- ◇丸亀港：虹観光横、高架道路下

記念祭ひのきしん参加要項

●期間：令和 4 年 4 月 29 日～5 月 31 日

- ◇期間中であれば、日帰りでも泊まりがけでも結構です。ぜひご参加下さい。

●対象：どなたでもご参加いただけます

- 内容：大教会創立 120 周年記念祭に向けての準備ひのきしん、および片付けひのきしん

- 持ち物：ひのきしんできる服装(作業着や汚れてもいい服、靴、軍手、エプロンなど)ハッピー、マスク、着替え、洗面具

- 申込方法：大教会へ直接ご連絡ください(0877-27-3321)

- ◇自教会へもご一報ください。

- ◇5 月 17 日以前にひのきしんに来られる方は、帰参報告用紙の名簿に(ひ)とご記入ください

- 担当：横山富明、池田ゆりえ

- ひのきしん参加 1 週間前より体調管理をお願いいたします

おつとめ係より(担当:岩橋竜造)

教会長夫妻の皆様へ

- ◇記念祭はおつとめ着着用の上、10 時 40 分までに神殿結界内にご集合ください。お役に当たっている方は前方にお座りください。1 畳につき 2 名ずつお座り頂きます。10 時 40 分よりお役の確認、全員で発声練習を行います。

- ◇更衣室は男性が会議所、女性は信者会館 111 号室から 113 号室(続き部屋)です。祭典時間中、貴重品のお預かりは会計室でできます。祭典終了後、殿内で記念撮影を行います。その後、徹饌を行いますので男性の方はお手伝いをお願いします。

- ◇マスクを必ず着用してください。おつとめで上段に上がる時は外してください。

ご参拝の皆様へ

- ◇記念祭は午前 11 時からです。参拝場では 1 畳につき 2 名でお座りください。椅子席もあります。神殿に入りきれない方は講堂またはテント会場でご参拝いただけます。マスクを必ず着用してください。手指消毒にご協力をお願いします。

船舶・宿泊係より(担当:平井真治郎)

- ◇帰参報告を必ずご提出ください。

- QR コードから帰参報告フォームで報告できます(新規・変更とも)



- ◇定期便は各自きっぷをお買い求めください。

- ◇5 月 21 日のチャーター便のみ、チケット無しで乗船できます(大教会に船舶御供の箱を用意しています)

- ◇チャーター便：5 月 21 のみ
往路：児島港 8:30～9:00 発→本島港 9:00～9:30 着
復路：本島港 15:20～15:50 発→児島港 15:50～16:20 着

- ◇午前 7 時より受付、記念祭終了後、お弁当を配布します(お弁当交換券はありません。一人 1 つです)

- ◇記念祭には原則日帰りをお願いします。(係員についてはこの限りではありません)。身上のため宿泊を希望される方はご相談ください。

行事係より(担当:岡崎八十則)

カンタリーパークについて(直会改め)

- ◇講堂内ならびに神殿南側・北側テントを「カンタリーパーク」とし、ご帰参の皆様のご休憩・参拝・お食事の場所としてご利用頂けます。
- ◇講堂舞台では、演芸催し物があります。

キッチンカーについて

- ◇讃岐を代表する大人気キッチンカー 4 台が本島に上陸。記念祭でぜひご賞味ください

●営業時間：当日午前 8 時～午後 4 時

- 事前にチケットをお配りします。QR コードより注文フォームでご注文承ります。チケット



- トは請求書と合わせて郵送または大教会でお渡しします。5 月 21 日当日、受付でお支払いください。

- 当日は現金でも直接購入できます。

キッチンカーメニュー

【N's DINING】

- A：チーズハットグ ￥450
- B：ポテトレーラ ￥500
- C：ソーダドリンク M ￥300
- D：ソーダドリンク L ￥400

【中津しょう油から揚げ専門店 げんきや】

- E：からあげ ￥500
- F：ダージーパイ(大鶏排) ￥500

【コロ家】

- G：讃岐肉まんコロッケ ￥300
- H：コロッケ屋さんか揚げたカレーパン ￥350
- I：ソフトクリーム ￥350

【西内花月堂】

- J：カツサンド ￥500
- K：クロワッサンたい焼き ￥300
- L：揚げたこ焼き ￥300
- M：白桃スカッシュ ￥400
- N：フルーツアイスバー ￥400

スマイルフォト募集

- カンタリーパークのバンド演奏にて、スマイルフォトトリレーを上映します。各教会につながる家族や信者さん達の集合写真をぜひお送り下さい。

LINE：080-6318-0427 (上山)

※ 教会名と都道府県もお知らせ下さい

大教会からの お知らせ

3月22日教会長会議連絡事項

教祖お誕生まつり

【本島大教会】

- 4月14日、大教会祭典終了後、全員で「教祖御誕生讃歌」「ハッピーバースデーおやさま」「教祖御誕生祝歌」を斉唱し、お祝いさせていただきます。

立教185年 本部昇殿参拝

【総務部】

本部祭典の昇殿参拝は、4月18日、26日、5月26日も行われることになりました。本島として毎回46名の割当てを頂いております。昇殿参拝ご希望の方は、詰所事務所へお申し出ください。

- 服装：ハッピー、ネクタイ。女性はこれに準ずる
- ※マスクを必ずご着用ください
- 担当：平井真治郎役員

天理教婦人会第104回総会

【婦人会本部】

- 期日：4月19日(月)午前10時30分
- 会場：本部中庭
- 参加対象：今回の参加は支部代表に限定して行われます(本島支部から44名参加予定)
- 備考：音声が入るのは中庭のみです。廻廊やその他の場所に音声は入りません。

〈教祖誕生祭 おやさまへのお供え〉

- 手作りの品(おふきん、手芸品など)または賄い料
- 大教会ならびに詰所で受け付けます。
大教会：4月14日までに支部長へ
詰所：4月17日までに支部長へ

<https://www.honjima.com/>

本島大教会ウェブサイト

記念祭おつとめ稽古

【記念祭おつとめ係】

創立120周年記念祭を目指して、おつとめのお稽古を実施します。役割に当たっている方はもちろんのこと、役割に当たっていない方もどうぞご参加下さい。

- 日時：4月13日夕づとめ後
- 場所：大教会神殿
- 講師：大教会おつとめ修練部
- 担当：岩橋竜造役員

全教一斉ひのきしんデー

【教会本部】

- 日時：4月29日(祝)
- 会場情報：
<https://tenrikyo-regional.net>
- 天理教ホームページ教区・支部情報ねっと/より、最新情報が更新されますので、各自ご確認ください

青年会ひのきしん隊

【青年会本島分会】

おやさとふしん青年会ひのきしん隊第903回隊

- 期間：6月2日～20日頃(日程は未定)
- 時間：午前8時集合、午後5時頃解散
- 集合場所：本島詰所
- 参加対象：青年会員
- 参加御供：1日500円、最大5,000円
- 持参品：手袋、ベルト、帽子、タオル、アンダーシャツなど

統 計 (2月1日～28日)

教会名	初席	中席	参り連	修科	教人講習	検定講習
本 米 里					1	
本 盛 濱	1					
本 花		1				
本 備 前					1	
吉 峰	1					
倉 峰	1					
別 峰		3				
大 英 峰		1				
鶴 峰		1				
仙 峰		1				
合 計	3	7	0	0	2	0

大教会4月月次祭ライブ中継

【本島通信編集室】

- 対象：4月14日大教会4月月次祭に帰参できないため、ライブ中継視聴を希望する方
- 申込方法：
メールで、live@honjima.comに「ライブ希望」と「教会名・氏名」を記入してお申し込みください。当日朝ライブ視聴できるアドレスをメールでお知らせします。
- 申込締切：4月13日午後5時まで
- ご注意：ライブ中継は毎月のお申し込みとなります。



4月ひのきしん派遣依頼

【総務部】

〈本部食堂ひのきしん〉

- 期間：4月1日～15日
- 派遣：赤峰①

〈大教会・炊事ひのきしん〉

- 期間：4月13日～14日
- 派遣：本京①

〈詰所・教祖誕生祭受入ひのきしん〉

- 期間：4月16日午後8時～
4月19日午後1時
- 派遣：樺太①、澁谷①、本邦①、同朋①、琴浦①、本宮濱①、本九①、赤峰①

〈詰所・炊事ひのきしん〉

- 期間：4月25日～26日
- 派遣：本高①、本九②

にをいがけ名簿提出教会 (3月)					
本 島	0	本千代	6	赤 峰	10
本 樺	10	攝 泉	1	豪 峰	1
澁 谷	19	本水島	1	倉 峰	37
代々木	2	本備前	3	雄福峰	20
本萬代	2	本府中	2	栄東峰	9
本 都	62	崇 徳	9	霊 峰	5
本 京	10	本陽山	2	仙 峰	38
本 草	78	本新田	2		
計 23 教会			329 名		

みちのとの統計では初席7名ですが、本島通信では初席3名となっています。これは2月の天理管内高校生の初席者が含まれていないためです。新年度になり、管内高校生全員の初席を確認して、本島通信に掲載させていただきますので、ご了承ください。